

平成 17 年度事業計画

自 平成 17 年 4 月 1 日 至 平成 18 年 3 月 31 日

1. 会誌の発行

騒音制御第 29 巻 2 号～第 30 巻 1 号の 6 冊を隔月に発行し、会員に配布する。
1 号当りの平均ページ数は本文 85 ページを予定し、投稿論文掲載等の外、毎号特集を企画する。また、会誌の電子出版化への準備に協力する。

2. 研究発表会の開催

平成 17 年 4 月 22 日東京工業大学百年記念館において、平成 17(2005)年春季研究発表会を開催し、講演論文集を発行する。

平成 17 年 9 月 15 日、16 日の両日横浜国立大学において、平成 17(2005)年秋季研究発表会を開催し、講演論文集を発行する。

3. 調査・研究

研究部会において研究計画をたて、テーマごとに分科会を設けて研究を進め、その成果を会員に報告する。あわせて報告会等を開催する。

さらに、騒音・振動に関する調査研究を実施すると共に、関連学会との情報交換を行う。社会貢献の一環として、委託調査研究を積極的に行う。

また、音響測定器に関する日本工業規格(JIS)の見直し及び原案作成を行うと共に、音響関連国際規格(ISO、IEC)の審議に協力する。

4. 懇談会の開催

会員同士が環境騒音問題を自由に議論し、情報交換することを目的として、次の通り環境騒音問題に関する懇談会を開催する。

第 4 回懇談会を、“騒音評価における emission と immission の視点”をテーマとして、平成 17 年 4 月 21 日東京工業大学百年記念館で開催する。

第 5 回懇談会を、“騒音の評価時間の考え方(仮題)”をテーマとして開催する。

5. 出版

「建物における騒音対策のための測定と評価」を平成 17 年度前半に出版する。騒音制御に係る用語を解説する「騒音制御用語事典(仮称)」及び一般向け啓蒙書シリーズ(お話シリーズ)を発刊するための作業を進める。また、技術講習会のテキスト「騒音・振動技術の基礎と測定」を初級者向けの技術書とする出版企画を検討する。

6. 教育・普及

講演会、シンポジウム、講習会及び見学会等を随時計画し実施する。会員に対して学

会情報をいち早く伝達するため、ホームページの一層の充実をはかる。あわせて、学会入会の勧誘を行う。

7. 選奨

騒音及び振動の制御に関する学術・技術の発展と普及、これによる生活環境の保全と向上に対して功績のあった者又は業績を表彰・奨励するために、研究功績賞、守田栄論文賞、環境デザイン賞及び研究奨励賞を贈呈する。

8. 資格認定

資格制度に基づき、社団法人日本騒音制御工学会認定技士の認定を行う。

9. 海外との交流

I-INCE 加盟団体として協力する。

海外関連機関 (ICA、WESPAC、INCE/USA 等) と連絡、情報の交換を行う。

2006 年 12 月にホノルルで開催予定の inter-noise 2006 の準備を共催の INCE/USA と協力して行う。

また、Noise/News International を有料で会員に配布する。

10. その他

学会運営の効率化及び会員サービスの向上を図るため事務局体制の充実・強化に努める。

平成 18 年度は創立 30 周年を迎えるため、記念行事の準備を行う。